

特別講演 1

「たかが膝痛・されど膝痛

～リウマチ膝関節外科医が考えること～」

福井総合病院 リウマチ膠原病科 部長

尾島 朋宏 先生

膝関節痛で来院する成人患者の大多数は変形性膝関節 (OA) ですが、関節リウマチ、感染性関節炎、結晶誘発性関節炎の可能性がないか検討する必要があります。また若年者の場合は万が一の腫瘍性病変、外傷やアライメント異常などにも注意するようにしています。

OA の保存的治療として、リハビリテーション、NSAIDs、関節注射などが一般に行われます。一方、サプリメント、漢方、マッサージ、針灸などの代替医療を好む患者さんも多く、説明に苦慮します。また慢性疼痛に対する薬だけでなく、軟骨再生医療なども行われ始めています。改めて、膝痛に悩む患者が多いこと、いまだ有効な保存的治療が限られると感じさせられます。手術治療としては、関節鏡手術、骨切り術、人工関節置換術があります。どれも有効な手術方法なのですが、一長一短があり、どのような患者にいつ適応するかが重要です。周術期管理の進歩、残された課題についても触れたいと思います。